

## (別紙) 東京型銭湯の特徴・現地体験の見どころ

東京型銭湯は、1923年の関東大震災からの復興に励む都民を元気づけようと、当時の宮大工が豪華な宮造りにしたことが始まりとされています。社寺建築を思わせる力強い外観や、木材を格子状に組んだ格天井（ごうてんじょう）など開放感のある内観が特徴的です。

### ●外観

社寺建築を思わせる力強い豪華な宮造りの外観



### ●内観

高い天井など開放感のある内観



現地体験では、以下の内容などを見どころとしています。なお、天候などにより当日の内容が一部変更になる可能性があります。

### ●唐破風（からはふ）

日本の城郭建築や社寺建築に見られる特徴的な（弓のような丸みを帯びた）形をしており、威厳のある雰囲気醸しています。



### ●格天井（ごうてんじょう）

格式高い印象を与える、木材を格子状に組んだ格天井も、特徴の一つです。



### ●庭園・縁側

庭園や縁側により、都会でつろぎながら自然も楽しむことができます。



### ●ペンキ絵

銭湯の浴場に入ると、壁面に書かれた大きな富士山のペンキ絵などが目に入ります。



※上記写真はイメージ